

法華寺だより



釈尊降誕会

お釈迦様はおよそ二千五百年前にご誕生されたと伝わります。そして産まれて間もなく、天と地を指して「天上天下唯我独尊、三界皆苦我当度之」(一人一人の命はかけがえのないものである。私は苦しむに喘ぐ人々に安らぎを与えることを第一としたい)

このお釈迦さまの教えを大切に世に広めたいとご供養に励んでいるのが日蓮宗です。

写真の釈迦像は、開山上人が京都の本山(頂妙寺)より頂いたものです



いざ挑戦

日蓮検定

【三級その③〇】
日蓮が、晩年に患ったとされる病はどれか？

- 1 .. 皮膚病、
- 2 .. 熱病、
- 3 .. 下痢、
- 4 .. 肺病、

聖人は元来丈夫な方であったと思われず。それでなければ数々の困難を乗り越えられなかったと思います。しかし晩年、身延の厳しい生活環境とそれまでの無理により、しばしば下痢症状に悩まされたようです。

- 1 .. 皮膚病
- 2 .. 熱病
- 3 .. 下痢
- 4 .. 肺病



ご案内

四月

八日 釈尊降誕会法要
十三日 行学会

五月

六日 開山上人第七十九回 正当命日法要
十三日 境内清掃とお花見の宴
二十七日 帯広仏教徒連合花祭り

南無妙法蓮華經

三月十三日、天晴閣にて本年度の行事予定等を確認しました。役員は藤川会長以下昨年引き続き励んでくださいます。

布薩会も昨年に準じた体制で、行事に取り組みます。



心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩みや心配事の絶えないもの
.....ご来所やお電話を.....
TEL 一三三・四〇三三

今月の聖語

ほとけ みち
仏になる道は

師に仕ふるには
過ぎず

過ぎず

【仏の心】

その人の存在で、その場が和み丸く収まる。そんな人を「仏さまのような方」と言います。そのような人になるには、何かに導かれるようです。その存在を信じる時、導きの師は様々な姿で現れます。信じること「身延山御書」より

日蓮聖人御遺文



覚書

三月

十三日 婦人会総会

役員会

二十日 春季彼岸会法要

二十六日 テニアン島への慰

霊の旅(若)

三十一日 帯刑教誨



一 休 み

●「日蓮宗信行読本」より(拾い読み) ●

第四章 日蓮宗の葬儀と追善供養

1 日蓮聖人は死をどのように見られていたか

(2) 死んだあとはどうなるのでしょうか ①

「死」は私達にとって大きな関心事です。死後を問題にする場合、大きく二つのとらえ方があります。

一つには、「死ねば全て終わり」という考え方です。

人は種々の物的要素から出来ていて、死後は分解し後には何も残らない。死後の意識の存続はないとする考え方です。

二つには、死によって肉体は滅びるが何らかの形態

で死後も存続し、意識も存続するという考えです。

仏教では三世(過去・現在・未来)の因果を説きます

「奉仕に感謝」

☆様

☆様 仏花

☆布薩会と婦人会の様 春のお彼岸法要の諸準備



法華和讃

(四十四)

殺生の報も今は鶉飼川

せつしようむくいいまうかいがわ

ほとけ かずのこ きようせき

仏の数の残る経石

なむみようほうれんげきよう

南無妙法蓮華経

妙法和讃

ミニ私見

【殺生の……】

文永十一年(千二百七十二)鎌倉から、身延に移る。庵

が完成するまで各地を巡

経。笛吹川で野宿していた

とき、平家の亡霊が現れ、

魚を盗んだため殺されたが

今も成仏できないという。

河原の石に経文を書いて供

養した。その後亡霊は出現しなくなると伝わる。

編集後記

◆「無葬社会」という本

を読んだ◆著者は「鶉飼秀徳」と

いう浄土真宗の僧籍を持つ人◆あ

まり考えなかつたことが多々◆例

えば火葬料金はいくら◆帯広の

場合、市民無料です◆でも帯広市

民が音更で火葬すると三万円◆東

京や横浜では住民税を払って

も五万程には◆勿論公立の話、私

立となれば十万を超える◆しかも

何日も待たされるとのこと

◆死ぬのも大変◆

参照・引用

※日蓮聖人聖語カレンダー

※「日蓮検定」

※「日蓮宗新聞」

※「日蓮と日蓮宗」

※「仏教語散歩」等々